

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年09月01日

計画の名称	便利で快適に過ごせるまちづくり（防災・安全）												
計画の期間	平成29年度～令和03年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	川辺町												
計画の目標	南海トラフ巨大地震などの大災害に備え、事前対策・減災対策等を実施し都市施設の有するべき機能を確認し、安全安心な都市活動を継続する。 適切な維持管理・改築・修繕を行い、安定した快適な暮らしと、良好な環境を継続する。 下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	109	A	101	B	0	C	8	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	7.33	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (R1末)	最終目標値 (R3末)
1	総合地震対策計画に基づくマンホールトイレ整備実施率を0%（H29）から80%（R3）に増加させる。 マンホールトイレ整備実施率を0%（H29）から80%（R3）に増加させる。 マンホールトイレ整備済箇所数（箇所）/マンホールトイレ整備数（箇所）	0%	40%	80%
2	重要な管渠の地震対策実施率を0%（H29）から100%（R3）に増加させる。 重要な管渠の地震対策実施率 重要な管渠のうち、耐震化または減災対策が行われている延長（km）/重要な管渠の延長（km）	0%	100%	100%
3	マンホールポンプ長寿命化対策実施率を54.8%（令和元年）から100%に増加させる。 マンホールポンプ長寿命化対策実施率 長寿命化対策済みのマンホールポンプ（箇所）/長寿命化対策すべきマンホールポンプ（箇所）	55%	84%	100%
4	下水道人口普及率を96.3%（令和元年）から96.8%に増加させる。 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人）/総人口（人）	96%	96%	97%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	<input type="radio"/>	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	-----------------------	----------	---	----------	-----------------------	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H29	H30	H31	R02	R03				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	川辺町	直接	川辺町	管渠(汚水)	新設	マンホールトイレ整備	マンホールトイレ N=5箇所 (5基)	川辺町						34		策定済	
		地震																		
	A07-002	下水道	一般	川辺町	直接	川辺町	管渠(汚水)	改築	幹線管渠耐震化	マンホール継手耐震化 L=1.2km	川辺町						17		策定済	
		地震																		
	A07-003	下水道	一般	川辺町	直接	川辺町	管渠(汚水)	改築	マンホールポンプ 長寿命化	マンホールポンプ 電気設備	川辺町						5		策定済	
	A07-004	下水道	一般	川辺町	直接	川辺町	管渠(汚水)	新設	未整備地区管渠布設	下水道管新設	川辺町						45		策定済	
												小計						101		
												合計						101		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	C07-001	下水道	一般	川辺町	直接	川辺町	管渠（ 汚水）	新設	マンホールトイレ整備	災害時応急復旧資機材の整備	川辺町						8		策定済
		基幹事業の施設整備と一体的に整備することにより、被災地の衛生対策や被災者の心身の健康確保が図れる																	
											小計						8		
											合計						8		

事後評価

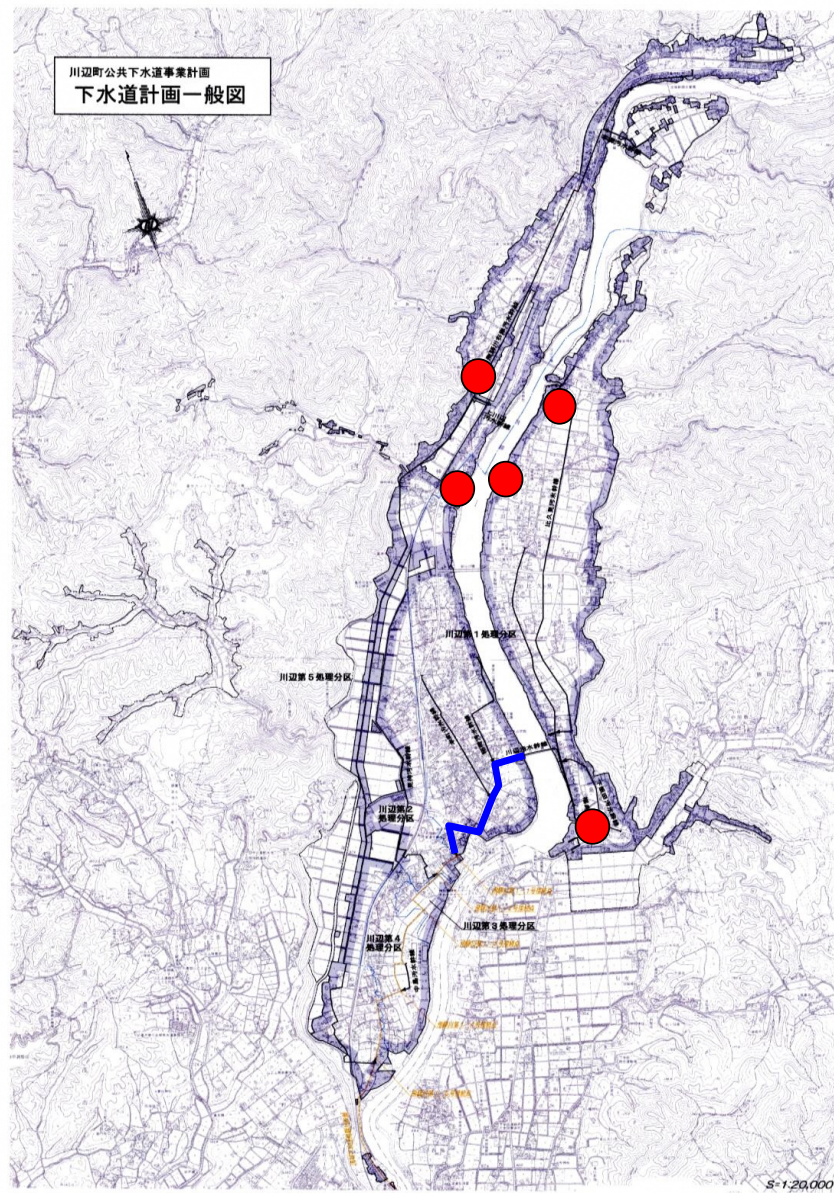
事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
川辺町上下水道課にて評価を実施	令和4年9月
	公表の方法
	川辺町公式ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・マンホールトイレの整備は計画を移行し、「社会資本総合整備計画(防災・安全)(重点計画)H30-R4」にて事業を行った。 ・川辺町下水道総合地震対策計画におけるマンホール接続部の耐震化計画に基づき、H29に下水道管渠耐震化工事実施設計を行った。なおH30実施のマンホール接続部耐震化工事は計画を移行し、「社会資本総合整備計画(防災・安全)(重点計画)H30-R4」にて事業を行った。 ・ストックマネジメント計画に基づき、老朽化した下水道施設(汚水マンホールポンプ)の計画的な改築更新を実施したことにより、事故の未然防止及びライフサイクルコストの低減につながった。 ・未普及地区管渠布設については計画を移行し、「社会資本総合整備計画R2-R6」にて事業を行った。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況(必要に応じて記述)	
特記事項(今後の方針等)	
今後も引き続き、ストックマネジメント計画に基づく下水道施設の改築更新を実施し、下水道施設の機能維持に努めていく。	





目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	マンホールトイレ整備実施率	
	最終目標値	80%
	最終実績値	0%
「社会資本総合整備計画(防災・安全)(重点計画)H30-R4」にて事業を行ったため本計画の実績は0とする		
2	重要な管渠の地震対策実施率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	0%
「社会資本総合整備計画(防災・安全)(重点計画)H30-R4」にて事業を行ったため本計画の実績は0とする		
3	マンホールポンプ長寿命化対策実施率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
4	下水道処理人口普及率	
	最終目標値	97%
	最終実績値	0%
「社会資本総合整備計画R2-R6」にて事業を行ったため本計画の実績は0とする		

社会資本総合整備計画（防災安全交付金） 参考図面

令和 4年 9月 1日

計画の名称	便利で快適に過ごせるまちづくり（防災・安全）		交付対象	川辺町
計画の期間	平成29年度 ～ 令和3年度（5年間）			



	下水道法による事業計画区域 （整備予定区域）	
	既設幹線	
	耐震化工事実施設計（污水）	A07-002
	マンホールポンプ長寿命化（污水）	A07-003

S-1,20,000